

# 東京日々新聞

九百十九号



去年十月二十日の  
眞信助二四の  
旅商人

るふじたるを人磯井

此ふとていふは此

山中に住炭焼のかのと

彼の商人の懐中

とのせんと夫婦

の者ともあひ合せ

人無きありを幸ひと

の商人とて子に持

カタあつらひて斬

殺し所持の金子

奪ひ取りぬらふ

見しを思ひます

つらき身りとあまれ

知る者こそあま

天廻るる免るる

其事既に露つと

萬齋  
芳幾  
雙

甲金  
具足屋

水川栄